

政策評価調書(22年度実績)

政策名	多彩な県民文化・県民総スポーツの振興		政策の目的等	県民の文化活動を通じた心の豊かさの追求、地域文化の創造並びに先人から受け継がれてきた貴い文化の保存及び継承を通じて活力ある地域社会を形成し、「文化の香り高いふるさとのおいた」を創造する。 また、県民一人ひとりが生涯にわたり、スポーツに親しみ健康で活力にあふれる生活が送れるよう、スポーツ環境の整備とスポーツ人口の拡大をめざす。	主管部局名	企画振興部
	政策コード	V-3			担当課室名	文化スポーツ振興課

【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後の動向	2002FIFAワールドカップや別府アルゲリッチ音楽祭といった世界的イベントの開催や、第63回国民体育大会、第8回全国障害者スポーツ大会の開催のほか、トップリーグに所属する4つのプロスポーツクラブの活躍などを通じて、県民の文化・スポーツに対する関心は高まりを見せている。特に、県民の健康志向や文化芸術活動への参加意欲は高まりつつあり、誰もがスポーツや文化芸術活動に気軽に取り組める身近な環境整備が求められている。一方で、過疎化・高齢化の進行により地域の伝統文化の継承や文化芸術活動の実施が困難になりつつある。 こうしたことから、今後は、文化・スポーツを取り巻く社会情勢を的確に把握し、それらの課題や社会ニーズに応じた文化芸術振興施策やスポーツ振興施策を積極的に展開するよう努めることとする。
-------	--

【政策を構成する施策の評価結果】

施策名		評価結果		政策との関連度
		業績評価	主管部局評価	
1	県民文化の創造	概ね達成	現状維持	◎
2	文化財・伝統文化の保存と活用	概ね達成	現状維持	○
3	県民スポーツの振興	概ね達成	現状維持	◎
4	(大分らしい国体・全国障害者スポーツ大会の創造)	-	-	-

【構成する施策に対する意見・提言】

<p>○美術館建設について (平成22年度「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会委員発言要旨より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分が感じられる美術館を建設すべきである。子どもたちに開放的な美術館であるべき ・社会的弱者に対する措置(手話通訳、バリアフリーなど)を前面に打ち出した広報が必要である。 ・厳しい財政状況を踏まえ、美術館の新設には疑問がある。 ・日常的に来場しやすい美術館にしりべーターを増やすといい。学校との連携やボランティアネットワーク拡大が必要である。 <p>(平成22年度県政モニターからの意見(1月分)より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の人口の半数近くを占める大分市に建設してほしい。 ・全国的にも名を馳せ、より身近で近代的なシンボルとなる建物を建設してほしい。 ・他県の事例をよく研究し、県民の税金で建設するということを忘れずに熟考のうえ建設してもらいたい。 	<p>(平成22年度県政モニターからの意見(2月分)より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金を使って建設するのだから、利益も上がり県民の誇りや活動力となる良い美術館を、他県の方々が訪れやすい場所に建設してください。 ・芸術文化はお金がかかります。後世に残すためにも、県民の理解のもと「自然」「遊び」「子供の時から芸術性を育てる」を考慮し、家族で一日中楽しめる美術館を建設してください。 <p>○別府アルゲリッチ音楽祭について (平成22年度県政モニターからの意見(7月分)より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年盛況だが、活気と比較して大分県からの新人誕生は今ひとつの感がある。参加アーティストも同じ顔ぶれだし、アルゲリッチさんの健康も心配だ。 <p>○県立総合文化センターについて (平成22年度県政モニターからの意見(4月分)より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下1階の「文化情報ラウンジ」の利用者が少ない。自由に利用してよいのか、飲食してよいのか等の表記があると利用しやすい。
--	--